

## 令和元年6月19日 南部地区研究会

会場	川崎市立川中島小学校
参加人数	20人

内容

### ① 地区研修計画

### ② 実技研修 「和のココロ」

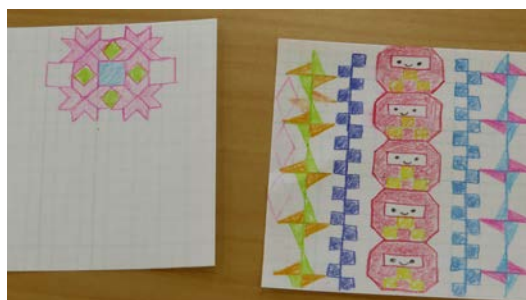
第1回目の南部地区研では、昨年度実際行われた授業をもとに「和のココロ」という研修を行いました。

今回は、取り上げるのは日本に昔から伝わる伝統的な模様である和柄です。身近なところにも意外とたくさん使われているけれど、私たちはあまり意識して見ることがないのが現状ではないでしょうか。それは、子どもたちは同じ。そこで実際の授業では、2020年東京オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクター「ミライトワ」「ソメイティ」を取り上げて、クイズを通して和柄への興味を高めました。この2つのキャラクターは市松模様と桜をモチーフとしてつくられていることを知るとともに、身近にあるその他の日本の伝統的な模様について学びました。「季節の模様」「動物の模様」「連続する模様」など様々な種類の模様があることやそれぞれの模様に込められた思いや意味などを学びました。



和柄について学んだところで、次は和柄を描く活動を行いました。今回は実際の授業でも行ったように、「連続する模様」を描きました。「和」という言葉から連想するものをイメージマップに書きだし、出てきたものをモチーフにして考えるとよいということでした。「だるま」や「鳥」などを図案化して描いたり、既存の和柄を組み合わせることで新たな模様をつくったりして、たくさんのすてきな模様ができました。

### 参加されたみなさんの作品



授業後、子どもたちは身の回りにある日本の伝統的な模様を見つけ、喜ぶ姿が見られたそうです。「和のココロ」という題材を通して、身の回りの模様を新たな視点で見たり、その美しさを感じたりすることにつながります。何年生にどのように授業を行うかを考えながら研修に参加することで、これからの授業実践につながる研修になりました。